



とったぞー！！



さつまいも掘り

9月10日（木）にカノンの皆さんでさつ

ま芋掘りをしました。4月に植えた苗が立派に育っていることを祈りつつ、土をかき分けかき分け、お芋の姿を見つけた時には「あつたあつた。」と喜びの声。途中で折れないように気を付けながら丁寧に土を掘っていき、立派なさつまいもが収穫できると歓声が上がっていました。収穫の

後の休憩時間にはふかし芋をいただき、笑顔いっぱいの一日常になりました。

おいし〜♡



カノン通信

No. 7号

令和2年9月号

年間目標

『ルールを守りましょう』

月間スローガン

『返事をしましょう』

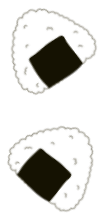
実りの秋となってきました。今月は芳春会で育てた作物も収穫され、植物の生命力を感じることができました。カノンのみなさんが丹精こめて育てた作物は、格別においしいものですね。



粃摺り



6月に田植えをしてしっかり育った稲がたわわに実ってようやく粃摺りまでたどりつきました。今年はずっとよりたくさん良いお米ができて利用者さんたちもとても嬉しそうでした。初めてこの作業を見る利用者さんも珍しそうに見学してお米がどうやってできるのかいろいろ勉強になったようです。玄米運びも手伝ってくれました。



今月の給食メニュー



季節メニュー
きのこご飯
秋刀魚の塩焼き
さつまいも煮
もやしの甘酢
みそ汁
デザート



親子丼
胡麻和え
もずく酢
煮豆
みそ汁
フルーツ

市役所授産品販売

9月15日（火）

の市役所授産品販売に参加しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて開催が危ぶまれましたが、無事開催となりました。参加された小倉さん、森下さん、裏橋さんのがんばりのおかげで、61,200円の売り上げとなりました。ご家族の皆様もご協力ありがとうございました。



《研修報告》

研修名：権利擁護研修～利用者への意思決定支援を学ぶ～

日時：令和2年9月16日（水）

研修受講者：福田 美佐

社会福祉事業に従事する者として、改めて「権利擁護とは？」を確認し、福祉サービスを利用される方の意思を尊重し、本当に必要な支援は何かを福祉現場での事例を交えて考え、利用者本人への意思決定支援や求められる役割等を学ぶことを目的とする研修です。

意思決定支援は、日本国憲法で定められている①基本的人権の尊重②生存権③個の尊重、幸福追求権に基づき、知的障害や精神障害等で自己決定に困難を抱える障害を持つ方が、日常生活や社会生活に関して自らの意思が反映された生活を送ることが可能になるように、事業所の職員などが利用者本人の意思の確認や選考の推定、最善の利益の検討を行います。その際、ご本人への支援は自己決定の尊重に基づいて行うことが原則であり、ご本人の自己決定にとって必要な情報の説明は、ご本人が理解できるよう工夫して行うことが重要です。また、幅広い選択肢から選ぶことが難しい場合は、選択肢を絞った中から選べるようにしたり、絵カードや具体物を手掛かりに選べるようにしたりするなど、本人の意思確認が出来るようなあらゆる工夫を行い、ご本人が安心して自信を持ち自由に意思表示できるよう支援することが必要です。

今回の研修では、津久井やまゆり園の事件や栗原心愛さん虐待死事件など実際に起こった事件から、意思疎通が出来ない人を刺殺した犯人の動機や意図を供述から知り、社会福祉の視点や論点からどのようにすればこのような痛ましい事件が起こらなかったのか検討し話し合いました。また、成年後見制度について詳しく学び、意思疎通が出来ない利用者の事例を上げ、その方の意思決定支援に成年後見人としての立場からはどのように対応・介入して『目標とする生活』を提供すればいいのか演習を通して学びました。

研修名：福祉人材キャリア形成支援研修「感染症予防対策研修」

日時：令和2年9月8日（火）

研修受講者：横山 恭子

感染は3つの条件が揃った時に引き起こされます。その3つとは、感染源（細菌やウイルスなどの微生物を含むもの）、感染経路（接触・飛沫・空気）、宿主（感染を受ける人）です。接触感染は感染源や病原微生物に汚染された物品を介することによって起こり、飛沫感染は咳やくしゃみなどで唾液や喀痰が空中に飛散し、それを吸引することで起こります。空気感染は飛沫より小さい $5\mu\text{m}$ 以下の粒子となって空中を漂っている病原微生物を吸引して感染が成立します。例を挙げると、インフルエンザは飛沫感染、ノロウイルスは接触感染、結核菌は空気感染です。感染を広げないために必要なことは、感染源の除去(感染症の早期診断と治療や排泄物などの適切な処理)、感染経路の遮断(手指衛生、適切な防護衣の使用、隔離、空調整備)、リスクのコントロール(皮膚・粘膜の保護、予防接種、全身状態の管理、栄養管理)が挙げられます。これらの中でも、日常生活の中で最も大事なものは手指衛生です。例えば、薬用石けんと流水で15秒間手洗いをすると、病原微生物は $1/4\sim 1/13$ に減少し、30秒間では $1/60\sim 1/600$ になります。アルコール消毒の場合は30秒間擦り込むことで $1/3000$ に、60秒間では $1/10000\sim 30000$ になると言われています。手洗いの後にアルコール消毒を併用すると効果が上がると言えます。目に見える汚れがある時には、先に石けんと流水で洗い流すことが必要です。また、咳エチケットも大事なものの一つです。咳やくしゃみをする時には口、鼻を覆うためのマスクを着用し、気道分泌物はティッシュを使い、使用後はゴミ箱に捨てます。気道分泌物やその汚染物・物品と接触した後は手洗いをすることが重要です。

菌は自分で増殖することができますが、ウイルスは自分自身で増殖することはできません。粘膜などの細胞に付着し、入り込むことによって増殖しますが、皮膚を健康で清潔に保つことでウイルスが侵入しにくくなります。また、手指衛生を実施することで、手から鼻や口にウイルスを運ぶことを防ぐことができます。日頃から手指衛生を実施し、少しでも感染のリスクを減らしていくことが今私たちにできる大事なことであると言えます。